
県立図書館で調べよう

イザベラ・バード

～明治時代の新潟を旅した女性冒険家～

イザベラ・バードは、19世紀に活躍したイギリス人の女性冒険家です。世界の様々な地域を旅していますが、明治11年には来日し、東北から北海道を中心に旅をしました。その中で新潟にも1週間ほど滞在しています。

彼女の旅の特徴は、基本的に一人旅であるということです。日本ではまだ外国人が珍しかった時代に、日本人のガイド1人だけをお供に旅をし、しかも積極的に人々の暮らしの中に入っていました。彼女の旅行記からは、明治の人々の暮らしがよくわかります。また外国人の目から見た日本人の暮らしは、面白い発見にあふれています。



『バード日本紀行』（雄松堂出版）より

新潟県立図書館

目次

1	『日本奥地紀行』を読む……………	1
2	『日本奥地紀行』の解説を読む……………	2
3	イザベラ・バードを知る……………	2
4	新潟における足跡をたどる……………	3
5	イザベラ・バードの他の旅行記を読む……………	3
付録 小説で読むイザベラ・バード		

凡例

『 』内は図書または雑誌のタイトル。()内カタカナはタイトルの読み。

「 」内は論文のタイトル。

タイトルの後は、版・巻次、著編者、出版社、出版年、当館請求記号。請求記号は [] 内に記入。

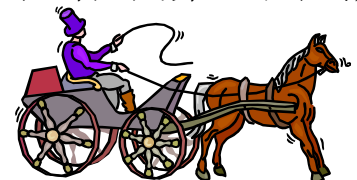
資料には館外貸出できない資料もあります。貸出の可否は、蔵書検索の「取扱区分」で確認してください。「取扱区分」に「禁帯」とあるものは、館外貸出できません。

1 『日本奥地紀行』を読む

イザベラ・バードは、日本旅行から帰国した後の1880年、『Unbeaten Tracks in Japan』（直訳：日本の未踏の地）という旅行記をイギリスで出版しています。その旅行記はイギリスで人気となり、1885年には難しい部分を省略した普及版も出版されています。

日本でも『日本奥地紀行』などのタイトルで数種類の翻訳本が出版されており、当館では6種類所蔵しております。

- ・『新訳日本奥地紀行』（東洋文庫）イサベラ・バード／著 金坂清則／訳 平凡社 2013 [N291/B46]
* 1885年出版の普及版を完訳。
- ・『完訳日本奥地紀行』1～4（東洋文庫）イザベラ・バード／著 金坂清則／訳注 平凡社 2012～2013 [N291/B46/1～4]
* 1880年出版のものを翻訳。図版等もすべて収録した完全版。新潟に関する記述は2巻に収録。
- ・『イザベラ・バードの日本紀行』上, 下（講談社学術文庫）イザベラ・バード／著 時岡敬子／訳 講談社 2008 [N291/B46/1, 2]
* 1880年出版のものを翻訳。新潟に関する記述は上巻に収録。
- ・『バード日本紀行』（新異国叢書）I. L. バード／著 楠家重敏／[ほか]訳 雄松堂出版 2002 [N291/B46]
* 1885年出版の普及版を省訳
- ・『日本奥地紀行』（平凡社ライブラリー）イザベラ・バード／著 高梨健吉／訳 平凡社 2000 [N291/B46]
* 1973年出版の東洋文庫を再出版
- ・『日本奥地紀行』（東洋文庫）イサベラ・バード／著 高梨健吉／訳 平凡社 1973 [291/B46]
* 1885年出版の普及版を翻訳



2 『日本奥地紀行』の解説を読む

- ・「講演「イザベラ・バードが見た日本」（福島県立博物館 館長・赤坂憲雄）の要約」堀口一彦／著（『阿賀路』57号（2019.6）p13～22）
- ・『婆のいざない』赤坂憲雄／著 柏書房 2010 p25～40 [380/A32]
- ・『イザベラ・バードの『日本奥地紀行』を読む』（平凡社ライブラリー）宮本常一／著 平凡社 2002 [N291/Mi77]
*1984年出版の本の中からイザベラ・バードに関する部分を抜粋して出版したもの
- ・『イザベラ・バード紀行』伊藤孝博／著 無明舎出版 2010 [N291/B46]
- ・『イザベラ・バード『日本奥地紀行』を歩く（楽学ブックス）』金沢正脩／著 JTBパブリッシング 2010 [N291/B46]
- ・『イザベラ・バードを歩く』釜沢克彦／著 彩流社 2009 [N291/B46]
- ・『イザベラ・バードの会津紀行（会津学叢書）』赤坂憲雄／[ほか]著 奥会津書房 2006 [N291.2/B46]
- ・『紀行を旅する』加藤秀俊／著 中央公論社 1984 p179～205 [N290/108]
- ・『古川古松軒／イザベラ・バード（旅人たちの歴史）』宮本常一／著 未来社 1984 p99～251 [291/Mi77]
*民俗・社会学者の宮本常一が行った講義をまとめた本



3 イザベラ・バードを知る

- ・『青い眼が見た幕末・明治 12人の日本見聞記を読む』緒方修／著 芙蓉書房出版 2020 p195～209 [210.5/O23]
- ・『旅にとり憑かれたイギリス人 トラヴェルライティングを読む』窪田憲子／ほか編著 ミネルヴァ書房 2016 p297～326 [384/Ku14]
- ・『イザベラ・バード』（講談社学術文庫）パット・バー／著 講談社 2013 [289.3/B46]
- ・『英国と日本』イアン ニッシュ／編 博文館新社 2002 p123～138 [319/N79]
- ・『イザベラ・バード旅の生涯』O. チェックランド／著 日本経済評論社 1995 [289.3/B46]

4 新潟における足跡をたどる

- ・『新にっぽん奥地紀行 イザベラ・バードを鉄道でゆく』芦原伸／著 天夢人 山と溪谷社（発売） 2018 p100～117 [N291/A92]
- ・「バードが食べた“fresh salmon”についての一考察」堀口一彦／著（『阿賀路』57号（2019.6）p23～31）
- ・「津川宿の今昔」薄友一／著（『阿賀路』57号（2019.6）p32～38）
- ・「阿賀野川・光と影の近代ものがたり その（1） イザベラ・バード／橋／舟運」山崎陽／著（『阿賀路』55号（2017.6）p140～151）

- ・『会津街道』阿賀町／編 阿賀町 2011 p4～5 [N/682/A19]
- ・「明治11年・開港場・新潟—イザベラ・バードの紀行文を手がかりに」堀 健彦／著 (『地理』52巻10号(2007.10) p27～35)
- ・「そとから見た新潟印象記(1)」吉田郁生／著 (『郷土新潟』21号(1979.9) p58～76)
- ・『北陸道の景観と変貌』木下良／編 古今書院 1995 p228～242 [291.4/Ki46]
- ・「英国女流探検家の見た新潟」池政栄／著 (『市史にいがた』3号(1988.10) p4～23)
- ・『新潟市史読本』新潟市郷土資料館／編 新潟市郷土資料館 1979 p208～209 [N/2*13/N727]
- ・「イザベラ・バードを追って 日本奥地旅行最初の外人」赤城源三郎／著 (『蒲原』45号(1977.10) p54～59)

5 イザベラ・バードの他の旅行記を読む

- ・『チベット人の中で』 イザベラ・バード／著
中央公論事業出版 2013 [292. 2/B46]
- ・『イザベラ・バードのハワイ紀行』 イザベラ・バード／著
平凡社 2005 [297. 6/B46]
- ・『イザベラ・バード極東の旅』 1, 2 (東洋文庫) イザベラ・バード／著 平凡社 2005 [292/B46/1]
- ・『中国奥地紀行』 1, 2 (東洋文庫) イザベラ・バード／著 平凡社 2002 [292. 2/B46/1, 2]
- ・『朝鮮紀行』 (講談社学術文庫) イザベラ・バード／著 講談社 1998 [J/292. 1/B46]
- ・『ロッキー山脈踏破行』 (平凡社ライブラリー) イザベラ・バード／著 平凡社 1997 [295. 3/B46]
- ・『朝鮮奥地紀行』 1, 2 (東洋文庫) イサベラ・バード／著 平凡社 1993 [292. 1/B46/1, 2]



付録 小説から読むイザベラ・バード

- ・『探偵イザベラ・バード明治開化殺人事件』 塩見鮮一郎／著 河出書房新社 2012 [913. 6/Sh74] *フィクション
- ・『イトウの恋』 中島京子／著 講談社 2005 [913. 6/N34] *フィクション。イトウはイザベラ・バードのガイドを務めた日本人男性。

令和3年3月

新潟県立図書館 作成

新潟市中央区女池南3-1-2

TEL 025-284-6001 (代表)

<http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>